

唐木田コミュニティセンター運営協議会

第6回 定期総会 議事録

- 1 日 時 平成28年5月14日（土） 10:00～12:57
- 2 場 所 からきだ菖蒲館 2Fホール
- 3 来 賓
 - ・多摩市長：阿部裕行 ・多摩市議会議長：萩原重治
 - ・多摩市くらしと文化部部長：東島亮治
 - ・多摩市くらしと文化部コミュニティ生活課長：尾又孝行
 - ・多摩市くらしと文化部同課主査：守谷俊英
 - ・多摩市くらしと文化部同課主査：藤木 浩
 - ・多摩市くらしと文化部同課主事：濱谷圭祐
 - ・唐木田図書館長：栗崎佳津美・唐木田児童館長：三枝弘士
- 4 出席者数 41名
委任状24名 計65名（5月13日現在の運営委員68名）
 - ・司会 : 佐藤美千枝 ・議長: 金光秀郎
 - ・書記 : 望月健太郎
 - ・議事録署名人: 柳井慎司・川井博之
 - ・議事進行補佐: 後藤事務局長
- 5 配布資料
 - ・唐木田コミュニティセンター運営協議会第6回定期総会
平成28年度議案書（案）
 - ・第4号議案 役員選任（案）

6 挨拶（10:00～10:21）

- ・会長挨拶 会長 河本博治

本日は、お忙しいなか唐木田コミュニティセンター第6回定期総会にご出席頂き有難うございます。また、阿部市長、萩原市議会議長をはじめ来賓各位多数のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。（以下 議案書P1、「ごあいさつ」の内容に沿って挨拶の後）これから27年度の活動報告と決算、任期満了に伴う役員選任ならびに28年度活動計画と予算について、ご審議いただきます。例年よりも議案も多く効率的な運営にむけ、ご協力の程、お願い申し上げます。

本年度は、折り返し点を過ぎ、次の節目であります10周年に向けてスタートの年であります。所期の目的でありますコミュニティづくりに資するべく一層充実した活動が展開されますことを期待し開会のご挨拶とします。

- ・来賓挨拶 多摩市長 阿部裕行（抜粋）

運営協議会定期総会の開催、おめでとうございます。昨秋、5周年の菖蒲館まつり

にお邪魔しましたが、環境組合、福祉センターと同時開催により大変盛り上がり、とても良かったと思えました。皆さまのご努力に感謝申し上げます。

さて、多摩市では、健幸まちづくり政策を進めています。20年後には、後期高齢者が倍増すると予測され、その時、在宅でどのようにやっていけるのか、今その土台づくりが必要です。しかしながら、7割近くの市民が無関心層であると言われており、その人達にどう働きかけるかが課題であり、コミセン活動にその一端を担って頂くことを期待しています。

この館（やかた）を使い尽くして頂くことを皆様にお願ひし、お祝いの挨拶と致します。

・来賓挨拶 多摩市議会議長 萩原重治（抜粋）

定期総会の開催、おめでとうございます。昨秋、菖蒲館まつりに参加させていただき、とても多くの方が来館されており、驚きました。ここに菖蒲館を造って良かったと思えました。本当に地域の核として使われていることが分かります。

多摩市議会は、市民の皆さんと一緒に働く議会とも言われています。コミセン活動を通じた皆さんのご意見を積極的に発言して頂くことを期待します。

7 議長選出

・運営協議会運営細則第3条の規定により、総会出席者の中から金光秀郎氏が推薦され全員の賛同を得て議長に選出された。

8 議長による書記、議事録署名人の指名、総会成立宣言

・議長は、運営協議会運営細則第3条の規定に基づき、書記に望月健太郎氏、議事録署名人に柳井慎司氏と川井博之氏を指名した。

9 議事

(10:24)

・議長から第1号議案と第2号議案は、関連があるので一括して審議したいと提案があり承認された。

第1号議案 平成27年度活動報告(案)

・会長 河本博治から平成27年度活動報告のうち、総括及び特別委員会の活動、副会長 橋本 勳から総務企画部会と広報部会の活動、副会長 横倉敏郎から健康・スポーツ部会、福祉部会、文化部会、まちづくり部会の活動について報告した。なお、総括の特記事項として4月の役員会で熊本地震義援金の募金を行うことを決定し、受付に募金箱を設置したことが追加報告された。

(議案書P2～P12)

第2号議案 平成27年度決算報告(案)及び監査報告

・議案説明 : 会計担当役員 吉江勉から平成27年度決算について報告した。

(P13～P15)

・監査報告 : 監事 石田禎頭が「監査報告書」により、監査報告を行った。(P16)

質疑応答

- ・質疑1 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・コミュニティールームの使用時間区分変更で15分のインターバルを設けるとのことだが、割高になるのではないか？
- ・回答 会長 河本博治
 - ・15分相当分の使用料金を下げることになる。
- ・質疑2 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・14頁の資料にある指定管理料収入をみると、平成25年度消費税分減額として40万円減となっているが、なぜ今、25年度分がでてくるのか？
- ・回答 相談役 橋本正晴（前 運営協議会会長）
 - ・多摩市との契約に基づき当時処理したが、解釈の相違があり処理をし直したと聞いている。議案審議終了後、報告事項として吉江会計役員から詳しく説明いただく。
- ・質疑3 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・消費税が48万円を超えるため中間納税したとのことであるが、その見合財源は、27年度の指定管理料に入っているのか？
- ・回答 会計担当役員 吉江 勉
 - ・先程の質問と合せて報告事項で説明する。
- ・質疑4 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・科目のなかで予算オーバーの科目が多く見受けられ不足分は、他の科目から流用している。科目間の流用ルールを明確にしておく必要がある。役員会で決めているようであるが、どのようになっているのか？
- ・回答 会計担当役員 吉江 勉
 - ・予算は、出来る限り科目内で収めるよう運営している。そのために、毎月、役員会で収支報告している。そのなかで、各部会の執行率を確認している。科目により過不足が生じる場合、余裕のある科目から振り替えることになるが、その調整は、役員会に諮っている。
- ・意見 議長 金光秀郎
 - ・民間出身の感覚では、予算の科目間調整は、当然だと思う。
- ・意見 まちづくり部会 松原 俊範 委員
 - ・「開館5周年」とうたっているが、まつり開催時点では、まだ4年目の途中であった。満5年と5周年では意味が違う。次回、節目の行事を行う時には、注意して頂きたい。また、「からきだ菖蒲館」の表示も度々「唐木田」と漢字になっている。総会資料にもあるので、気を付けて頂きたい。

採決

- ・第1号議案、第2号議案とも挙手により賛成多数で原案どおり承認可決された。

第3号議案 運営協議会会則の一部改定(案)

- ・会長 河本博治から議案書に基づき会則の一部改定案が説明され、質疑なく挙手により採決の結果、賛成多数で原案どおり可決された。(議案書 P17～P18)

第4号議案 役員選任(案)

- ・会長 河本博治から当日配付の資料「役員・相談役候補者(案)」に基づき、総会選出役員(会長、副会長2名、会計2名、監事2名)及び相談役1名の候補者が提案され、質疑なく、採決の結果、原案どおり承認可決された。(議案書 P19)

続いて、議長から第5号議案と第6号議案は、関連があるので、一括して審議したいと提案があり承認された。(議案書 P20～P24)

第5号議案 平成28年度活動計画(案)

- ・会長 河本博治から運営方針、特別委員会について、担当部会長(総務企画部会長：佐藤美千枝、広報部会長：柳井慎司、健康・スポーツ部会長：河本和也、福祉部会長：北川 満、文化部副部会長：鈴木久美子、まちづくり部会長：尾崎英昭)から担当部会の事業計画について説明した。(議案書 P20～P24)

第6号議案 平成28年度予算書(案)

- ・副会長 橋本 勳から平成28年度予算(案)及び事業費・活動費予算内訳(案)について説明した。(議案書 P25～P26)

質疑応答

- ・意見 まちづくり部会 池田 正 委員
 - ・日曜朝市には参加しているが出荷者も増えているのに最近売り上げが落ちているとのことであり、自分も反省している。からきだ菖蒲館の顔として更に発展させたい。
 - ・「和 nagomi cafe」の営業時間を短縮したとのこと、当館にとって絶対に必要な機能であり、むしろ夜も含め営業時間をのばし強化すべきではないかと考える。
 - ・「花いっぱい運動」も非常に良いことである。唐木田駅前には、多くの人が集まる。私達が手入れしているポットに更に手を加えてくれる人もいる。思いがけないキッカケづくりとなる。
- ・質疑1 健康・スポーツ部会 河本和也 委員
 - ・ホームページについて、付加した情報が更新順に表示されるが、実施日順に並べられないだろうか？イベントカレンダーと個別のイベント案内のリンクが上手くとれていない。個別イベントのチラシをPDF情報化したうえで、カレンダーにリンクさせられないか？
- ・意見 議長 金光秀郎
 - ・是非とも広報部活動に参加していただき、実行して頂きたい。

- ・質疑2 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・議案書20頁で多摩市社会福祉協議会評議委員会への参加がなくなったのは何故か？
- ・回答 会長 河本博治
 - ・評議委員は、5月で任期満了となる。次年度以降は、地域福祉推進委員会から選出されることになる。実態として、地域福祉推進委員会と運営協議会のメンバーは、相当数重複している。
- ・質疑3 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・多摩市の総合防災訓練には、どのように関わるのか？
- ・回答 会長 河本博治
 - ・地域福祉推進委員会のなかで防災チームが地域の代表として関与することになると思われる。からきだ菖蒲館の防災は、館を対象範囲とするもので、責任者は、児童館長であり、コミセンとして必要な訓練を実施している。
- ・質疑4 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・国際交流イベントが「共催」から「後援」になっているが、トーンダウンしたのか？
- ・回答 橋本相談役
 - ・WCT多摩の世話をしているので、私からお答えする。多摩市が「後援」としているもので、それに合わせたものであり、実質は変わらない。
- ・質疑5 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・周年記念事業積立基金を計上することを復活しているが、繰越収支差額との関連をどのように整理しているのか？
- ・回答 副会長 橋本 勳
 - ・趣旨は、10周年に向けてお金を積み立てておくことである。単式簿記と複式簿記の考え方が混ざった管理になっており、確かにわかりにくい。繰越している金額の中に、積立基金が混じっている。
- ・質疑 まちづくり部会 桐木 優 委員
 - ・そのようなお金が必要なのは理解できるので、積立基金の取り崩し基準を明確にすると共に取り崩した事実を繰越収支差額の内訳のなかで明確にして欲しい。
- ・質疑 総務企画部会 平 修 委員
 - ・資料14頁の「予算対比」の定義は何か？昨年も曖昧なので外すことにしたのはなかったか？この資料を「参考資料」とするのもおかしくないか？予算との対比は、必ず必要ではないか？
- ・回答 会計担当役員 太田浩子
 - ・昨年、意見があったので、予算から実績を引くことで統一した。しかしながら、支出の部の対比でマイナス表示は違和感があるかもしれない。

採決

- ・第5号議案、第6号議案とも挙手により賛成多数で原案どおり議決された。

(12:30)

報告事項

- 1 佐藤総務企画部会長から「施設使用規程」、「スタッフ就業規則」の一部改定と平成27年度運営委員の入会・退会者について報告した。

- ・質疑 広報部会 戸辺文博 委員

- ・私が入会の扱いになっているが、もともと退会していない。無所属であったものが27年5月に広報部会の所属になったものである。小林さんも同様である。

- ・回答 総務企画部会長 佐藤美千枝

- ・修正します。

- 2 議長は、説明を先送りした消費税の件について、吉江会計担当役員に説明を求めた。

- ・これに対し、会計担当役員 吉江 勉から①「経緯」について ②市との間に取り交わされた文書による質問と回答について③この文書回答を受けた平成27年7月開催の役員会議での決定について、それぞれ説明する中で質問事項についても詳細に説明された。最後に、残っている疑問点や懸念される事項が説明された。

- ・議長から唐木田コミュニティセンター運営協議会第6回定期総会の審議事項、報告事項の全てが終了した旨の宣言があり閉会した。

(12:57)

議事録の証として、運営協議会運営細則第3条の規定に基づき、議長及び議事録署名人が署名・捺印する。

平成28年5月 日

- ・議長

金光秀郎 

- ・議事録署名人

柳井慎司 

- ・議事録署名人

川井博之 